

子育て社内アドバイザーの配置

津田工業株式会社

企業概要

設立:昭和41年(1966年)
所在地:埼玉県滑川町
事業内容:プラスチック製品の成型品への表面処理加工全般
従業員数:270人
(男性152人、女性118人)
一般事業主行動計画の策定 有



和やかな雰囲気の中での社内アドバイザーの子育て相談

取組のきっかけ

- 会社の理念である「社会に貢献し、明るく健康な職場づくり」を目指すために企業として何ができるかを考えた。
- 「社員の夢の実現」のために、仕事と家庭生活における幸せを考えなければならない。
- 女性の比率が、社員の45%、派遣・請負の従業員を入れると67%と高く、ワークライフバランスを推進する必要があった。

取組状況

- ① 子育て社内アドバイザー
子育て経験のある女性社員を2人「子育て社内アドバイザー」に任命し、従業員からの質問や相談に応じ、子育てに関する従業員の不安を取り除くように努めている。
- ② パースデー休暇
従業員の誕生日又はその前後に取得できるもので、誕生日を家族と一緒に祝って過ごす時間を提供している。〔パースデー休暇の取得率 100%〕
- ③ 育児休業制度等(法定以上)の周知
社内報や社内研修で周知する他、各工場の食堂等に掲示したり、各工場総務担当者及び部門長会議等を通じて周知を徹底している。
- ④ 子育てモニター委員制度
育児休業者、自らの体験を通して、当社の両立支援制度等のあり方を検証するとともに両立しやすい職場づくりに向けた取組みに対する意見や感想を発信する。

社員の声

- この取組を積極的に推進してほしい。女性が育児休業を取得しやすい雰囲気が、取得しにくさを上回るようになった。特に仕事と家庭、気兼ねなく子育てができる環境を維持してほしい。

効果と課題

【効果】

- 両立支援制度利用者の増加
以前は、結婚・出産を期に退職する女性社員が大半であったが、ここ数年間で、2度目、3度目と両立支援制度を利用する者も増えている。

【課題】

- 男性が育児休業を取得しやすい環境を整備する。